

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 エンチョー  
 コード番号 8208 URL <http://www.encho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 健夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 長谷川 英一  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 JQ

TEL 0545-57-0850

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	38,404	—	1,518	—	1,228	—	273	—
20年3月期第3四半期	38,051	2.1	1,326	△4.9	1,065	△8.8	605	8.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	19.95	—
20年3月期第3四半期	44.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	38,893	7,878	7,878	20.3	575.60	
20年3月期	36,622	7,866	7,866	21.5	574.56	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,878百万円 20年3月期 7,866百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.7	1,630	17.3	1,260	22.3	260	△53.7	18.99

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 13,714,995株 20年3月期 13,714,995株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 27,056株 20年3月期 23,335株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 13,689,146株 20年3月期第3四半期 13,632,202株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）における我が国経済は、サブプライムローン問題に端を発する世界経済の混乱により、景気の先行きに対する不透明感が強まり、悪化基調で推移いたしました。

ホームセンター業界におきましては、景況感の悪化による個人消費の急速な落ち込みに加え、同業他社との競争は一層激化し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループのホームセンター事業は、高品質・高付加価値商品を積極的に取扱い、暮らしに役立つ情報・サービスの提供を通して、お客様にご満足いただける店づくりを目指してまいりました。また、環境にやさしいエコ商品の推奨、レジ袋の削減などにより環境に配慮した企業を目指し、環境活動に積極的に取り組んでまいりました。

第3四半期（3ヶ月）の店舗の状況といたしましては、平成20年11月「ジャンボエンチョー浜松店」（静岡県浜松市中区）に、新たに「ペット・園芸館」を新設いたしました。ペット用品の品揃えを強化し、これまで以上にペット愛好家のニーズにお応えできるよう努めました。また、園芸用品は園芸資材等の充実を図り、一般のお客様からプロの方々までご満足いただける品揃えといたしました。

アウトドア専門店を展開する「SWEN」は、平成20年10月に 愛知県内初出店となる「SWENエアポートウォーク名古屋店」（愛知県西春日井郡豊山町）をエアポートウォーク名古屋内にオープンいたしました。また、平成20年12月には、神奈川県内初出店となる「SWENクレッセ小田原店」（神奈川県小田原市）を小田原シティーモール内にオープンいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,404百万円（前年同期比100.9%）、営業利益は1,518百万円（同114.5%）、経常利益は1,228百万円（同115.3%）となりました。四半期純利益は「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）の適用に伴い、期首在庫に含まれる変更差額674百万円を特別損失に計上した影響等により、273百万円（同45.1%）となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、38,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,270百万円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加1,839百万円、新規出店予定地の購入による土地の増加829百万円によるものであります。

負債合計は、31,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,258百万円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加2,282百万円によるものであります。

純資産合計は7,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円の増加となりました。これは、その他有価証券評価差額金が122百万円減少したものの、利益剰余金が136百万円増加したことによるものであります。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,839百万円増加し、3,158百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,076百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益498百万円、仕入債務の増加2,299百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、113百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出111百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,122百万円の支出となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出663百万円、長期未払金の返済119百万円、配当金の支払額131百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期業績予想につきましては、平成20年5月12日に公表いたしました業績予想より変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

###### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

###### ② 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

###### ④ 法人税等及び繰延税金資産並びに繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項ありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として売価還元法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ134百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は540百万円減少しております。

#### (追加情報)

当社及び連結子会社の機械装置の耐用年数については、第1四半期連結会計期間より、法人税等の改正を契機として見直しを行い、一部の資産については耐用年数を短縮して減価償却費を算定する方法に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,158,484	1,318,534
受取手形及び売掛金	899,739	788,448
有価証券	—	100,040
商品	8,969,438	9,075,026
仕掛品	17,983	959
貯蔵品	8,334	6,997
繰延税金資産	75,733	162,619
その他	577,928	527,463
流動資産合計	13,707,641	11,980,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,992,239	5,195,477
土地	11,638,683	10,808,710
建設仮勘定	40,235	34,182
その他（純額）	131,289	122,133
有形固定資産合計	16,802,447	16,160,503
無形固定資産	98,798	104,739
投資その他の資産		
投資有価証券	751,394	838,850
長期貸付金	1,647,955	1,578,344
敷金及び保証金	3,264,504	3,337,713
繰延税金資産	759,768	732,136
その他	1,905,134	1,934,359
貸倒引当金	△44,170	△44,170
投資その他の資産合計	8,284,587	8,377,234
固定資産合計	25,185,833	24,642,478
資産合計	38,893,475	36,622,568
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,276,139	6,993,826
短期借入金	5,425,796	5,546,796
未払法人税等	2,139	209,872
その他	2,369,938	2,127,864
流動負債合計	17,074,012	14,878,360
固定負債		
社債	1,816,800	1,700,000
長期借入金	9,169,828	9,742,548
退職給付引当金	880,679	979,520
その他	2,073,382	1,455,435
固定負債合計	13,940,691	13,877,504
負債合計	31,014,703	28,755,864

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902,954	2,902,954
資本剰余金	3,435,559	3,435,559
利益剰余金	1,552,335	1,416,142
自己株式	△11,813	△10,260
株主資本合計	7,879,035	7,744,395
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△263	122,307
評価・換算差額等合計	△263	122,307
純資産合計	7,878,771	7,866,703
負債純資産合計	38,893,475	36,622,568

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	38,404,962
売上原価	27,530,727
売上総利益	10,874,234
営業収入	294,621
営業総利益	11,168,856
販売費及び一般管理費	9,650,839
営業利益	1,518,016
営業外収益	
受取利息	38,429
受取配当金	10,856
その他	20,255
営業外収益合計	69,541
営業外費用	
支払利息	265,961
その他	92,928
営業外費用合計	358,889
経常利益	1,228,668
特別利益	
固定資産売却益	595
特別利益合計	595
特別損失	
減損損失	47,741
店舗閉鎖損失	7,577
たな卸資産評価損	674,923
投資有価証券評価損	641
特別損失合計	730,883
税金等調整前四半期純利益	498,380
法人税、住民税及び事業税	100,458
法人税等調整額	124,811
法人税等合計	225,270
四半期純利益	273,110

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	13,196,103
売上原価	9,611,600
売上総利益	3,584,502
営業収入	101,924
営業総利益	3,686,427
販売費及び一般管理費	3,187,617
営業利益	498,810
営業外収益	
受取利息	13,421
受取配当金	4,344
その他	3,638
営業外収益合計	21,404
営業外費用	
支払利息	88,847
為替差損	19,349
その他	28,310
営業外費用合計	136,508
経常利益	383,706
特別損失	
店舗閉鎖損失	7,577
投資有価証券評価損	641
特別損失合計	8,219
税金等調整前四半期純利益	375,487
法人税、住民税及び事業税	30,733
法人税等調整額	113,199
法人税等合計	143,932
四半期純利益	231,555

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	498,380
減価償却費	326,222
減損損失	47,741
店舗閉鎖損失	7,577
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△98,841
受取利息及び受取配当金	△49,286
支払利息	265,961
為替差損益 (△は益)	129
有形固定資産除却損	19,281
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,472
たな卸資産の増減額 (△は増加)	87,226
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,299,201
未払消費税等の増減額 (△は減少)	102,469
その他	236,098
小計	3,612,690
利息及び配当金の受取額	24,549
利息の支払額	△205,064
法人税等の支払額	△355,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,076,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△111,824
投資有価証券の取得による支出	△100,467
敷金及び保証金の差入による支出	△107,447
敷金及び保証金の回収による収入	161,892
その他	43,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△31,000
長期借入金の返済による支出	△663,568
社債の発行による収入	300,000
社債の償還による支出	△440,000
リース債務の返済による支出	△35,510
長期未払金の返済による支出	△119,494
自己株式の増減額 (△は増加)	△1,568
配当金の支払額	△131,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,122,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,839,949
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,158,484



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	38,051,506
II 売上原価	27,413,199
売上総利益	10,638,306
III 営業収入	292,153
営業総利益	10,930,460
IV 販売費及び一般管理費	9,604,426
営業利益	1,326,033
V 営業外収益	70,903
VI 営業外費用	331,742
経常利益	1,065,194
VII 特別利益	20,884
VIII 特別損失	107,489
税金等調整前四半期純利益	978,589
税金費用	373,394
四半期純利益	605,194

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	978,589
減価償却費	319,455
減損損失	56,774
店舗移転損失	50,715
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△98,415
長期未払金の増減額 (減少: △)	△135,820
受取利息及び受取配当金	△50,287
支払利息	248,277
売上債権の増減額 (増加: △)	△55,395
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△459,857
仕入債務の増減額 (減少: △)	3,037,608
未払消費税等の増減額 (減少: △)	△59,006
その他	△15,338
小計	3,817,298
利息及び配当金の受取額	34,938
利息の支払額	△194,315
法人税等の支払額	△317,349
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,340,572
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△747,500
保証金の預入による支出	△42,351
保証金の返還による収入	452,445
その他	55,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,707
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (減少: △)	△479,500
長期借入れによる収入	390,000
長期借入金の返済による支出	△629,335
社債の償還による支出	△140,000
株式の発行による収入	57,400
リース債務の返済による支出	△34,491
自己株式の増減額 (増加: △)	9,393
配当金の支払額	△128,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△955,084
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	5,497
<b>V 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)</b>	2,109,278
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	1,526,423
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	3,635,701